

# JASS 101 電気設備工事一般共通事項, JASS 102 電力設備工事, JASS 103 通信設備工事標準仕様書の改定の趣旨

—2000年7月改定版—

JASS 101 (電気設備工事一般共通事項), JASS 102 (電力設備工事) および JASS 103 (通信設備工事) 標準仕様書は, 1963年に作成されたが, その後, 新しい機材や新製品の開発, 採用などにより, それに伴って新工法が導入され, 電気設備の省エネ化, 省力化, 簡便化が進み, また電気設備に関する技術基準, 消防法など法規の改正がたびたび行われ本仕様書も改定せざるを得なくなり, 1984年に本文の改定を行い, また本文でわかりにくいところを補足するため1990年にJASS 101およびJASS 102の解説, 1992年にJASS 103の解説を刊行した。

しかしながら, 解説の編集, 執筆中にも法令, 規格類の改正が行われ, 仕様書本文の再見直しを要する事項が起こり, 変更の必要なものは, 解説において説明したが, 1984年の本文では, 実態にそぐわない部分が生じたので, 本文の改定を行うことにした。1992年9月より本文の改定審議に入り, この度, 完成, 発行を見るに至った。

特に今版は, 政府の規制緩和推進3カ年計画(平成10年3月31日閣議決定)に基づき, 基準認定制度の改善, 個別法令等における規制の改善などの改正が発生したので審議に時間を要した。

なお, 電気設備工事は多くの工事種別に細分化できるが, 本来, これらを総合して電気設備工事と称しており, 今回は, JASS 101~103を1冊にまとめて出版した。

使用上細分化しないほうが便利であると判断したものである。

おわりに, 本仕様書の改定にあたっては, 関係会員各位から多大のご協力をいただき, さらに多くの方々より貴重なご意見, 資料の提供を賜り, ここに深甚なる感謝の意を表する次第である。

2000年7月

日本建築学会

建築工事標準仕様書

JASS 101 電気設備工事一般共通事項

JASS 102 電力設備工事

JASS 103 通信設備工事

目 次

JASS 101 電気設備工事一般共通事項

	ページ
1 節 総 則	1
2 節 施工計画	4
3 節 機 材	5
4 節 現場施工	6
5 節 引 渡 し	8
資 料	9

JASS 102 電力設備工事

1 節 一般事項	17
2 節 配線工事	23
3 節 接地工事	49
4 節 照明設備工事	58
5 節 動力設備工事	70
6 節 特殊場所工事	74
7 節 受変電設備工事	81
8 節 予備発電設備工事	91
9 節 避雷設備工事	101

JASS 103 通信設備工事

1 節 共通事項	109
2 節 配線工事	112
3 節 接地工事	133
4 節 電話設備工事	135
5 節 拡声設備工事	138
6 節 電気時計設備工事	144

7 節	信号設備工事	152
8 節	火災報知設備工事	165
9 節	非常警報設備工事	170
10 節	ガス漏れ（火災）警報設備工事	172